

学校教育目標 ○考える子 ○力を合わせる子 ○健康な子	学校経営の重点 学校経営の重点 ○開校2年目「新たな学校づくり」………… ① 所属感、成り感をもてる学校 「友達と一緒に活動する喜び」「皆で力を合わせて成功させる充実感」「自分も相手も大切にしよう関係」 (土台作り2年目：課題解決、工夫改善) ② 自分たちでつくっていく学校 「児童・教職員・地域が心を合わせてつくる新たな学校」「これまでの伝統や風土を受け継ぎながら、それを発展させていく喜び」
目指す学校像…………一人一人を大切にす学校 ○目指す児童・生徒像…①これからの社会を切り拓くための資質・能力を身に付け、予測困難な時代に主体的に向き合い、自己肯定感を高め、人生をより豊かなものにする力をもち、持続可能な社会の創り手となる児童 ②自分も相手も大切に、互いに認め合い、助け合える児童 ○目指す教師像…………①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた校内研究の取組と指導力の向上を実践する教師 ②児童の実態を把握し、特別支援教育の視点をもった教師	重点目標の成果と課題

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標	平均	評価	成果指標	○ %	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価 記入欄	評価
社会に開かれた教育課程の実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。	家庭・地域との連携を強化する。また、地域の環境及び人材を生かした体験的活動を企画し、実施する。	家庭と連携した教育活動の充実を図る。(なんこ一番星・早ね、早起き・朝ごはん週間等)	4. 学期に3回以上取り組んだ 3. 学期に2回取り組んだ 2. 学期に1回取り組んだ 1. 年に2回以下取り組んだ			4. 保護者アンケート肯定的評価80%以上(保護者・地域と一体となる) 3. 保護者アンケート肯定的評価70%以上 2. 保護者アンケート肯定的評価60%以上 1. 保護者アンケート肯定的評価60%未満						
			地域人材を活用し、地域と一体となって子供たちを育む教育活動を充実する。	4. 学期に3回以上取り組んだ 3. 学期に2回取り組んだ 2. 学期に1回取り組んだ 1. 年に2回以下取り組んだ			4. 保護者アンケート肯定的評価80%以上(地域人材の活用) 3. 保護者アンケート肯定的評価70%以上 2. 保護者アンケート肯定的評価60%以上 1. 保護者アンケート肯定的評価60%未満						
			日常的に積極的な情報発信や公開を通して教育活動の理解を求めるとともに受信・共有を行う。	保護者や地域に、学習や学校生活の状況を、学校だより、HP等で定期的に情報発信する。 1. 月3回未満 4. 学期に3回以上取り組んだ 3. 学期に2回取り組んだ 2. 学期に1回取り組んだ 1. 年に2回以下取り組んだ			4. 保護者アンケート肯定的評価80%以上(情報発信) 3. 保護者アンケート肯定的評価70%以上 2. 保護者アンケート肯定的評価60%以上 1. 保護者アンケート肯定的評価60%未満						
確かな学力の育成	子どもが主体的に学び、教師が深く授業改革を進め、主体的・対話的で深い学びを実現することで、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等とともに学び続ける力の育成を図る。	基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図る。	朝学習や授業開始の時間を中心として、言語事項の習得、四則演算等、各教科の基礎的・基本的な事項を身に付ける。	4. 学期に3回以上取り組んだ 3. 学期に2回取り組んだ 2. 学期に1回取り組んだ 1. 年に2回以下取り組んだ			4. 保護者アンケート肯定的評価80%以上(朝学習への取組) 3. 保護者アンケート肯定的評価70%以上 2. 保護者アンケート肯定的評価60%以上 1. 保護者アンケート肯定的評価60%未満						
			学習の定着を図るため、タブレット端末を活用し、家庭学習を積極的・計画的に行わせる。(学習用ドリルソフを活用した家庭学習等)	4. 概ね週3回以上実施 3. 概ね週2回以上実施 2. 概ね週1回以上実施 1. 概ね週1回未満の実施			4. 保護者アンケート肯定的評価80%以上(家庭学習への取組) 3. 保護者アンケート肯定的評価70%以上 2. 保護者アンケート肯定的評価60%以上 1. 保護者アンケート肯定的評価60%未満						
			主体的・対話的で深い学びを目指し、問題解決的な学習や言語能力向上を意識した、各教科での取組の充実を図る。	4. 80%以上の授業で実施 3. 70%以上の授業で実施 2. 60%以上の授業で実施 1. 60%未満の授業で実施			4. 保護者アンケート肯定的評価80%以上(思考力・判断力・表現力の育成) 3. 保護者アンケート肯定的評価70%以上 2. 保護者アンケート肯定的評価60%以上 1. 保護者アンケート肯定的評価60%未満						
豊かな心の涵養	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・意欲・態度を育てる。	道徳教育を推進する。	ICTを活用し、子供同士による意見交換、発表等、お互いを高め合う学びを充実させる。	4. 1日に1時間以上実施 3. 2日に1時間以上実施 2. 3日に1時間以上実施 1. 4日に1時間以下実施			4. 児童アンケート肯定的評価80%以上(タブレットの積極的活用) 3. 児童アンケート肯定的評価70%以上 2. 児童アンケート肯定的評価60%以上 1. 児童アンケート肯定的評価60%未満						
			全国小学校道徳教育研究発表大会及び道徳授業地区公開講座等を核とした道徳教育の研究を充実させる。	4. 全教職員が主体的に取り組んだ 3. 9割以上の教職員が主体的に取り組んだ 2. 8割以上の教職員が主体的に取り組んだ 1. 8割未満			4. 児童アンケート肯定的評価80%以上(内容項目の理解・自己肯定感の高まり) 3. 児童アンケート肯定的評価70%以上 2. 児童アンケート肯定的評価60%以上 1. 児童アンケート肯定的評価60%未満						
			委員会、クラブ、縦割り班活動、実行委員会、係活動など子供の主体的な活動を重視し、自己有用感を高め他者とともに大切にしている指導の充実を図る。	4. 80%以上の指導場面で実施 3. 70%以上の指導場面で実施 2. 60%以上の指導場面で実施 1. 60%未満の指導場面で実施			4. 児童アンケート肯定的評価80%以上(自己肯定感の高まり) 3. 児童アンケート肯定的評価70%以上 2. 児童アンケート肯定的評価60%以上 1. 児童アンケート肯定的評価60%未満						
健やかな体の育成	正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体とたくましい心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける安全指導・安全教育を実施する。	いじめの早期発見に努め、特別な支援を必要とする児童や不登校傾向にある児童への支援を図る。	積極的・いじめを認知し、早期発見・早期対応に努める。週1回の学校いじめ対応チームで共通理解を図り、いじめの解消をめざす。	4. 認知したいじめの1件から2件が未解消 3. 認知したいじめの3件から4件が未解消 2. 認知したいじめの5件以上が未解消 1. 認知したいじめの6件以上が未解消			4. 児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 3. 児童アンケート肯定的評価70%以上 2. 児童アンケート肯定的評価60%以上 1. 児童アンケート肯定的評価60%未満						
			心のアンケートを活用し、一人一人の児童と向き合う時間を確保できるようにする。特別支援の視点をもって児童を支援している。	4. 認知したいじめの1件から2件が未解消 3. 認知したいじめの3件から4件が未解消 2. 認知したいじめの5件以上が未解消 1. 認知したいじめの6件以上が未解消			4. 児童アンケート肯定的評価80%以上(児童が向き合う) 3. 児童アンケート肯定的評価70%以上 2. 児童アンケート肯定的評価60%以上 1. 児童アンケート肯定的評価60%未満						
			体力テストの結果分析を生かした体育科の授業や体育新食、体力向上旬間を実施し、運動の日常化を行う。	4. 全児童が主体的に取り組んだ 3. 9割以上の児童が主体的に取り組んだ 2. 8割以上の児童が主体的に取り組んだ 1. 8割未満			4. 保護者アンケート肯定的評価80%以上(運動に積極的) 3. 保護者アンケート肯定的評価70%以上 2. 保護者アンケート肯定的評価60%以上 1. 保護者アンケート肯定的評価60%未満						
その他	統合2年目として、教職員一人一人が、児童が安心して楽しく通える学校をつくる。	校内の安全な生活環境を整え、自分を守り相手を守る安全教育の実施と危機管理体制を確立する。	早ね・早起き・朝ごはん週間などを活用し、家庭と連携した健康教育と食育を推進する。	4. 全児童が主体的に取り組んだ 3. 9割以上の児童が主体的に取り組んだ 2. 8割以上の児童が主体的に取り組んだ 1. 8割未満			4. 児童アンケート肯定的評価80%以上(望ましい生活習慣) 3. 児童アンケート肯定的評価70%以上 2. 児童アンケート肯定的評価60%以上 1. 児童アンケート肯定的評価60%未満						
			不審者対応、服薬事故防止、アレルギー対応、児童同士のトラブル、保護者への対応、緊急時の対応等冷静に判断できるように準備する。	4. 日常的に取り組んだ 3. 時々取り組んだ 2. あまり取り組めなかった 1. 取り組んでいない			4. 保護者アンケート肯定的評価80%以上(緊急時への備え) 3. 保護者アンケート肯定的評価70%以上 2. 保護者アンケート肯定的評価60%以上 1. 保護者アンケート肯定的評価60%未満						
			交通事故防止や不審者対応、P.機携帯電話等のネット・スマホ等利用の体罰防止や振り回しを身に付けるよう、意識付けや振り返りを行う。	4. 年間で2回以上取り組んだ 3. 年間で1回以上取り組んだ 2. 年間で1回以上取り組んだ 1. 年間で1回未満			4. 児童アンケート肯定的評価80%以上(交通事故・不審者への意識) 3. 児童アンケート肯定的評価70%以上 2. 児童アンケート肯定的評価60%以上 1. 児童アンケート肯定的評価60%未満						

取組指標の評価基準(結果数値からABCD評価へ)

取組指標平均	3.5以上	⇒ 評価A
取組指標平均	3以上3.5未満	⇒ 評価B
取組指標平均	2以上3未満	⇒ 評価C
取組指標平均	2未満	⇒ 評価D

成果指標評価基準

成果指標平均	80%以上⇒評価A
成果指標平均	70%以上⇒評価B
成果指標平均	55%以上⇒評価C
成果指標平均	55%未満⇒評価D

学校関係者評価の評価基準例

A⇒	取組・成果ともに十分評価できる
B⇒	取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい
C⇒	目標達成には至らないため、次年度の改善が必要
D⇒	重要な課題であるため、次年度、重点的に改善
※	学校からの十分な説明をもとに、学校運営協議会で成果と課題、改善点について協議する。

※ 学校独自に設定する場合は、枠内を修正明記してください。